

屋久島天然酵母菌調査研究開発事業

概要

世界自然遺産を有する屋久島に課せられていることは、自然環境保護や循環型社会のモデルとして常にパイオニア的存在として情報を発信し続けなければならないと求められている。

屋久島で昔から営まれていた自然と人との関わりを新たに表現する1つとして、世界自然遺産の森等から酵母菌を抽出しその菌を利用した新商品を開発し産業振興の起爆剤とする。

鹿児島県屋久島町



事業の内容

事業の内容

優れた発展可能性を秘めている世界自然遺産の森等から特質した天然酵母菌を、屋久島外の営利企業より先に発見し特許登録することにより自然環境保護に寄与し同時に当該酵母菌を活用した製品開発を推進し、地域産業振興策としての新規事業への構築を図る。

総事業費

11百万円

ポイント

- ・鹿児島大学との「域学連携」(共同研究)として事業を着手する。
- ・新商品を民間等と連携しながら開発することによって「産学官」が共同して地域振興を図る

事業の成果

- ・これまで屋久島において研究されることがなかった「酵母菌（応用生物科学分野）」について初めて着手し、今後の展開と可能性を見出すことができた。
- ・知的財産権を屋久島町が出願登録することによって、発見された酵母菌を活かしながら戦略的な商品を町主導で民間等と連携して今後、自然観光だけでなく自然を利活用した新たな財源を生むことを秘めたオンリーワン商品開発に着手できるようになった。